

指定管理施設評価 年間評価シート 令和4年度評価 (令和5年度実施)

1. 施設概要

Table with 4 columns: 施設名 (ガラス工芸館), 施設分類, 事業実施型, 所在地 (三田市香下1832番地), 指定管理者 (特定非営利活動法人 グラスクラフト協会), 指定管理者所在地 (三田市学園3丁目1番A棟201号), 選定方法 (公募), 指定期間 (平成31年4月1日 から 令和6年3月31日 (5年間)), 主な業務内容 (施設の管理運営, 施設の案内・利用に関する業務, 利用料金収納に関する業務, 入門及び専門講座、体験教室等の開催に関する業務), 利用料金制 (採用), 施設所管課 (地域共創部市民協働室文化スポーツ課), 電話 (079-559-5145)

2. 指標

Table with 5 columns: 施設の設置目的 (事業を通じて、市民の文化の振興に寄与する。), 管理運営における基本理念 (魅力的な講座の開設や施設の有効活用により、子どもを含む市民に広く創作活動や学びの場を提供する。), 評価指標 (下記の指標を【増加】又は【減少】させる管理運営を実施), R4年度, R3年度, R2年度. Rows include 利用者数 (14,540), 体験教室の満足度 (98%).

3. 管理運営状況

Table with 6 columns: 項目, 詳細, 現指定管理者 R4年度, 現指定管理者 R3年度, 現指定管理者 R2年度. Rows include 施設利用状況 (利用者数, 有料施設稼働率, etc.) and 指定管理者の収支状況 (収入, 支出, 差引き).

Table with 4 columns: 利用者満足度調査結果, 実施時期 (通年 (体験教室受講生)), 回答数 (236件), 主な調査内容及び満足度 (普通以上の割合) (講師やスタッフの対応 96%, 体験教室の満足度 98%).

(P2：評価内容)

指定管理者制度モニタリング【様式3】

指定管理施設評価 年間評価シート		令和4年度評価 (令和5年度実施)	
施設名	ガラス工芸館	施設分類	事業実施型
指定管理者	特定非営利活動法人 グラスクラフト協会	施設所管課	地域共創部市民協働室文化スポーツ課

4. 各項目における評価内容

評価の観点	評価項目	項目区分	指定管理者セルフ評価	市評価
Ⅰ.基本的なサービスの提供	(1)施設運営に係る協定事項の遵守	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)利用者の安全確保	サービス効果	4 やや優れている	3 標準
	(3)利用承認、案内等の対応と接遇	サービス効果	3 標準	3 標準
	(4)市、関係団体、地域等との連絡調整	サービス効果	3 標準	3 標準
	(5)施設の目的に沿ったサービスの提供	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
	(6)目標の達成度	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
Ⅱ.施設の管理	(1)建物保守管理・設備機器類の安全管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(2)収納・文書・備品の適正管理	適正管理	3 適正	3 適正
	(3)清掃・衛生管理・警備	適正管理	3 適正	3 適正
	(4)指定管理者が行う修繕	サービス効果	3 標準	3 標準
	(5)コスト削減、環境配慮の取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
Ⅲ.事業の実施 【事業実施型のみ】 ※2倍得点	(1)効果的な情報提供	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
	(2)委託事業（ソフト事業）の実施計画	サービス効果	3 標準	3 標準
	(3)委託事業（ソフト事業）の目標達成	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
	(4)自主事業への取り組み	サービス効果	4 やや優れている	5 優れている
	(5)共生社会の推進に向けた取り組み	サービス効果	3 標準	3 標準
Ⅳ.満足度向上への取り組み	(1)苦情等への対応	サービス効果	3 標準	3 標準
	(2)利用者獲得及び収入増加に向けた取り組み	サービス効果	5 優れている	4 やや優れている
	(3)利用者ニーズに応じた改善	サービス効果	3 標準	4 やや優れている
	(4)利用者の満足度	サービス効果	4 やや優れている	4 やや優れている
(得点率＝評価項目の評定の合計÷満点×100)			得点率	75%
			総合評価	A

適正管理【3段階】	サービス効果【5段階】
	5 優れている
	4 やや優れている
3 適正	3 標準
2 課題有	2 やや劣っている
1 要改善	1 劣っている

該当しない評価項目は斜線表示とする



得点率	総合評価
概ね80%以上 ※	S 優良
概ね70%以上 ※	A 良好
概ね60%以上 ※	B 標準
概ね50%以上	C 要努力
概ね50%未満	D 要改善

※評価項目に1つでも1の評価がある場合は、C以下とする

5. 総評

<p>指定管理者による所見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門講座生が、前年度より35%増加した。 ・専門講座生に、より高度な技術を習得してもらうための特別講座を、年間3講座開講した。 ・施設ロビーにおける作品販売売上額（施設スタッフ制作・受講生制作）が、前年度より7%増加した。 ・地域のマルシェやフェスタ等、外部イベントに年間5回参加し、地域活性化とガラス工芸館の知名度向上に努めた。
<p>市による所見</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座の内容や開催方法、広報に工夫がみられた。 ・体験教室への参加がきっかけとなり、技術習得をめざす専門講座受講につながる等、良い連鎖がみられた。 ・講座生の物品販売は収入増加をもたらし、講座生の創作意欲向上やガラス工芸館のPRIにもつながっていると思われる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや講座の増加とスタッフの配置とのバランスを取りながら安定した運営を目指す必要があり、市民への周知が課題である。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リピーターの獲得やより高い技術習得を目指す専門講座生の獲得、市民向けのイベントや講座など、成果にみられる好循環を維持しつつ、今後、更に多様化、高度化と思われるニーズに対応するスタッフの配置や設備整備について検討する必要がある。